

ドレンポンプ HA121J (100V) / HA122J (200V)

壁掛けエアコン用ドレンポンプ (2.5 / 3.0 m, 50 / 60 Hz) 据付／取扱説明書

安全にご使用いただくための注意

ポンプ使用対象について

- このドレンポンプは壁掛けエアコンのドレン排出用です。他の用途に使用する場合は事前にご相談下さい。

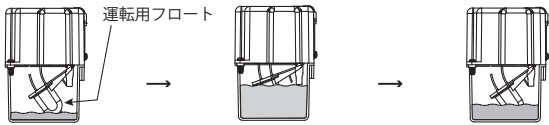
据付に際して

- 据付は必ず空調の専門業者の方が行って下さい。不備な工事は水漏れや感電、火災の原因になります。
- 据付の前に必ず『据付／取扱説明書』をよくお読みのうえ正しくご使用下さい。
- 戸外の直接雨水がかかる場所や可燃性のガス、引火物のある所へは据付けしないでください。感電や火災の原因になることがあります。
- 据付工事完了後、必ず試運転を行い異常がない事を確認して下さい。
- また、この『据付／取扱説明書』は必ずお客様の方で保管して下さい。

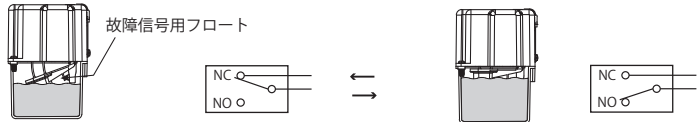
ドレンポンプ仕組みについて説明します

ドレンポンプには運転 / 故障信号用のフロートが1個ついています。

運転用 — 電源を接続し、タンクにドレンが流れてくるようにして下さい。タンクの中の水位が上がりフロートが上昇するとスイッチが入り排水します。また、水位が下がるとスイッチが切れてポンプが停止致します。



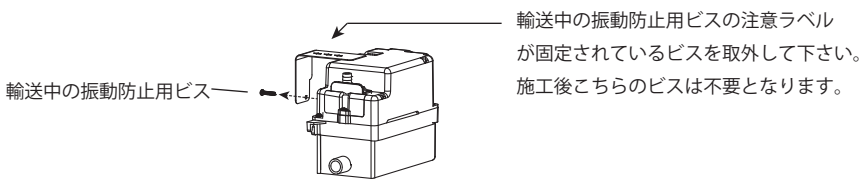
故障信号用 — 通常のタンク内の水位を超えて満水近くなると故障信号が作動します。(B接点 又は A接点)



据付方法

HA121 J/HA122 Jはタンク一体型の全自動ドレンポンプです。据付例を参照の上、下記の要領に従って据付けて下さい。

- 1) 施工を始める前に必ず輸送中の振動防止用ビスを取外して下さい。

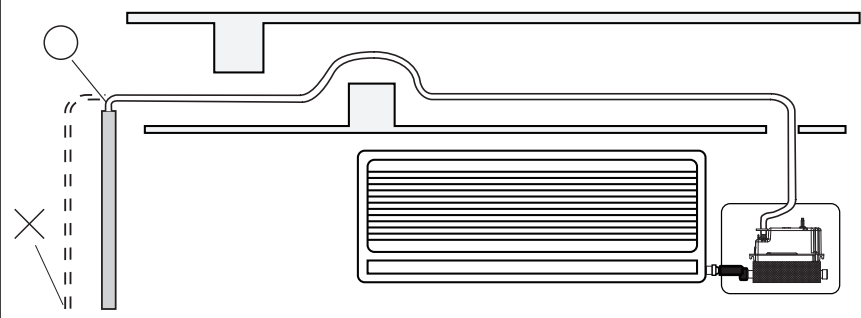


- 2) ドレンポンプを空調機のドレン出口より低い位置に水平に設置 (固定) する。傾むいて設置するとフロートスイッチが正常に作動せず水漏れする恐れがありますので注意して下さい。

- 3) 付属のゴムのアダプターを使用し、空調機のドレン管 (VP13) または断熱ホースにジョイントを接続してタンク側面のドレン入口に接続する。但し、その際ポンプへのドレン配管が下り勾配で、ドレンが確実にポンプのタンクへ流れる様に注意して施工下さい。

- 4) ドレン出口配管は付属の『ビニールホース』を使用するか、別売品『ビニールホース (H9)』、『断熱付ホース (D9)』又は市販の内径9mm (外径15mm) の 耐圧ビニールホースを使用して下さい。(規定のサイズと異なるホースを使用した場合ポンプの性能を保証出来ませんので注意して下さい。) 指定のビニールホースを使用する場合、通常の使用場所 (天井裏) では保温は不要です。(但し、高温多湿で結露の可能性の高い場所で使用する場合は必ず保温して下さい。)

ビニールホースの場合、排水するホースの末端位置はポンプより高い位置にて太い配管に放流するように排水して下さい。ポンプより下へ末端を持ってくるとサイフォン現象によりタンク内の水を全て引っぱりだし異音が発生する事がありますのでご注意下さい。



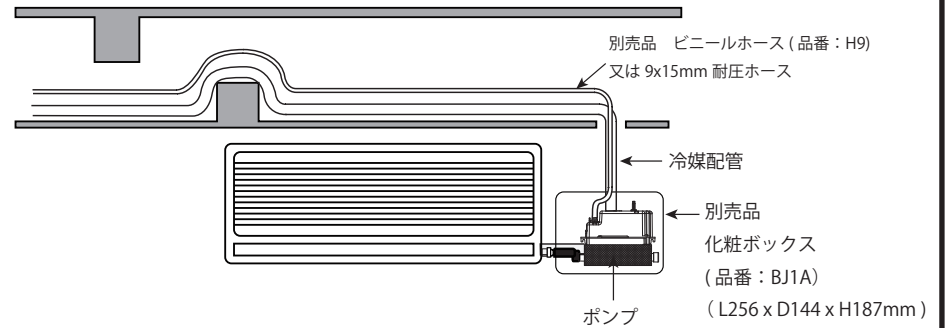
構成部品

次の部品をご確認ください。

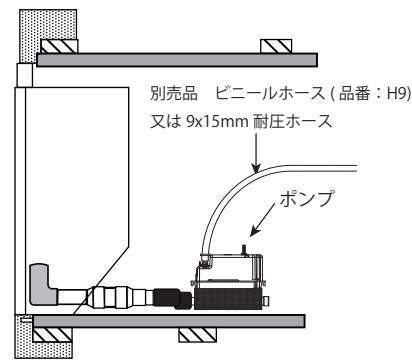
名称	ドレンポンプ	接続用アダプター	配線コネクター	ジョイント (14-18)	据付／取扱説明書	塩ビ配管キット	ビニールホース
部品							
個数	1	1	2	1	1	1	1 ホースバンド2個付

ドレンポンプ据付例

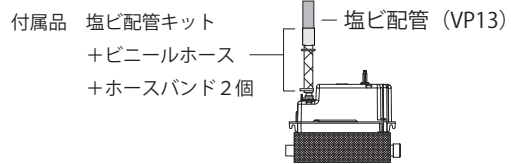
壁掛エアコンへの据付例



壁埋込みエアコンへの据付例



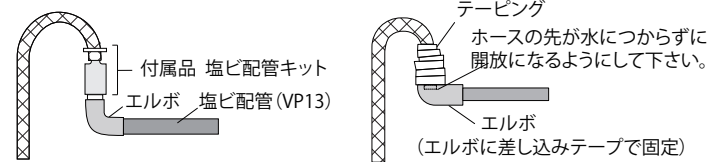
また付属の『塩ビ配管キット』を使用すれば塩ビ配管 (VP13) での施行も可能です。



塩ビ配管の場合、立ち上げ配管を空気溜りが出来ないように配管をまっすぐ施行して下さい。配管途中に空気溜りが出来ると排水で来なくなる場合がありますので注意して下さい。

- 5) ポンプの揚程は2.5m以下 (50Hz) (60Hzの場合は3.0m以下) で使用して下さい。

ホースを既設の塩ビ配管に接続する場合、末端にエルボを接続し、上からドレンホースをエルボに差し込み抜けないうテープで固定するか、付属の『塩ビ配管キット』を使用して接続して下さい。)



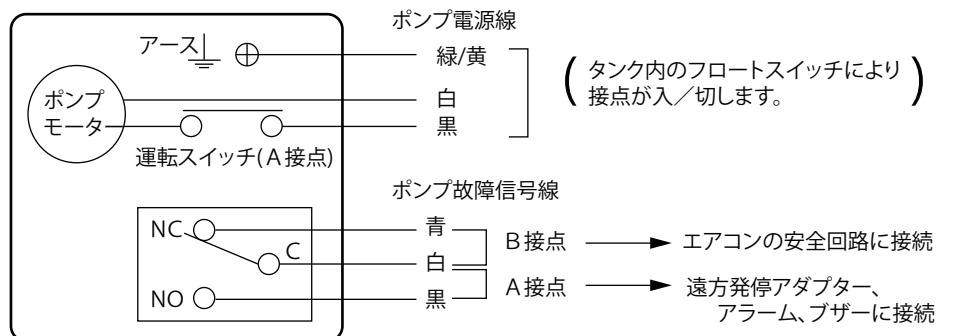
電源線及び故障信号線の接続要領

- 1) 3芯コードはポンプの電源線です。白色と黒色の線を電源に接続下さい。(HA121 Jは単相100V、HA122 Jは単相200Vに接続下さい。)



エアコン停止時の残留ドレンを排出する為、ポンプには常時通電して下さい

- 2) 緑/黄色の線はアース線です。空調機のアースに接続して下さい。
- 3) 青、白、黒色の3線は故障信号線です。水漏れ事故を防止するため、エアコンの安全回路に必ず接続して下さい。



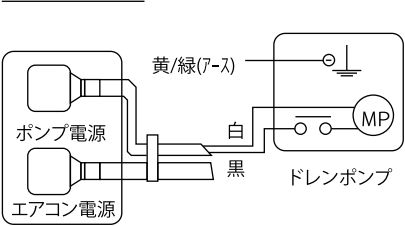
電気配線の接続方法

1) 電源線の要領

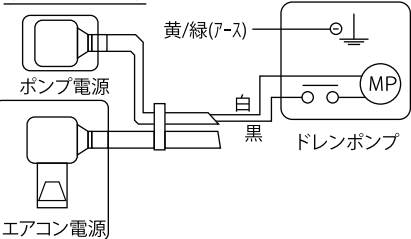
ルームエアコンの場合 (室内電源の場合)

別売の『電源キット (品番:DK1(100V用) DK2 (200V用) 』を使用するか、現地にて部品を手配のうえ下記の要領にてポンプの電源を接続して下さい。

(100V用電源)

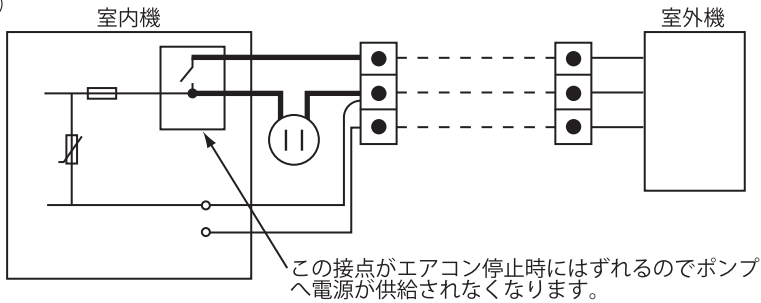


(200V用電源)



室内電源のエアコンで室内機電源端子からドレンポンプへの電源を取出すと、エアコン停止時電源端子に電源が供給されない機種がありますのでご注意下さい。

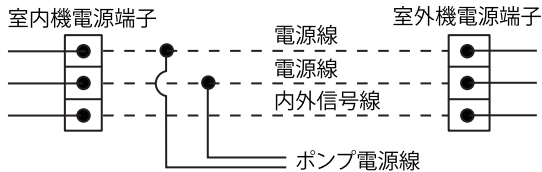
(例)



この接点がエアコン停止時にはずれるのでポンプへ電源が供給されなくなります。

業務用壁掛けエアコンの場合 (電源が室外電源の場合)

エアコンの室内外の電源の渡り配線の途中から電源を取るか、別途室内機の近くにポンプ用の電源コンセントを設置して電源を取って下さい。



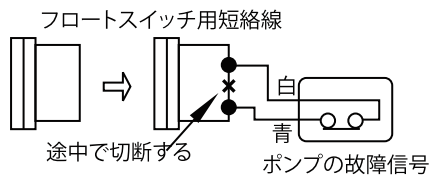
メーカーにより電源線及び内外の信号線の端子番号が異なります。確認の上配線して下さい。

2) 故障信号の接続要領

- 水漏れ事故を防止するために必ず故障信号線をインターロック配線 (ドレンポンプ故障時にエアコン・ファンコイル等を停止させる配線) して下さい。
- ポンプから出ている3線の内の2本を使用する事でA接点 (白線+黒線)、B接点 (白線+青線) の取出しが可能です。
- 故障信号の接続容量及びエアコンの電気配線により配線要領は異なります。下記を参考にしてポンプの故障信号の配線を行って下さい。
- 接続方法が分からない時は弊社までお問い合わせ下さい。

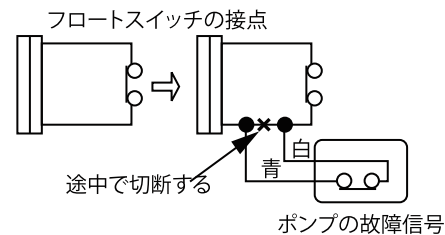
メーカーのドレンアップが別売である場合

(フロートスイッチ用の短絡線に接続)



ドレンアップが標準で付属している場合

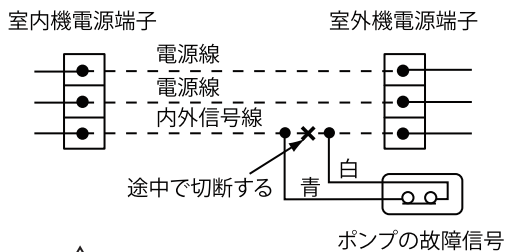
(ドレンアップのフロートスイッチに直列に接続)



ドレンアップが取りつかない機種の場合

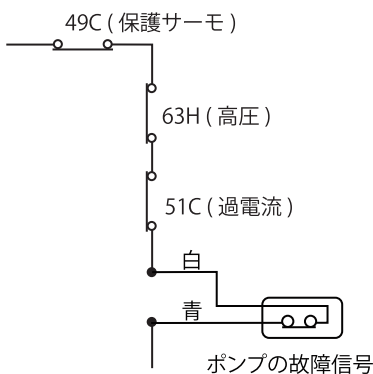
1. エアコンの室内外信号線の途中に接続

【室内外1対1の場合】



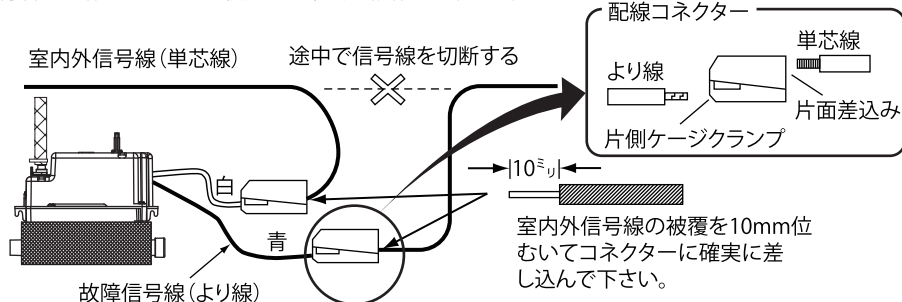
メーカーにより電源線及び内外の信号線の端子番号が異なります。確認の上配線して下さい。

2. もしくはエアコンの安全回路に接続



【配線コネクタ使用例】

室内外の連絡配線の単芯線と故障信号線の接続にあたっては付属の配線コネクタを使用して確実に結線して下さい。



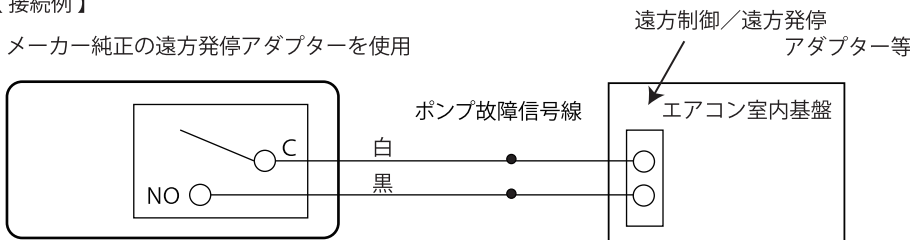
【ビル用マルチの場合】

ビル用マルチの室内機にドレンポンプの故障信号線を接続する場合には各メーカーの遠方発停アダプターや遠方制御アダプターを介して接続下さい。

(ビル用マルチの様にエアコン制御線 (信号線) がシステム全体に渡っている場合に制御線 (信号線) の途中にポンプの故障信号線を接続しますとドレンポンプ故障時にシステム全体が停止してしまう為。)

【接続例】

メーカー純正の遠方発停アダプターを使用



遠方制御/遠方発停アダプターの入力信号 A 接点仕様の場合は故障信号線の3線の内、白線と黒線に接続下さい。

試運転要領

- 室内機のドレンパンに水を少しずつ入れ、ドレンポンプが作動するのを確認して下さい。排水時ビニールホースの接続口より水漏れがない事を確認して下さい。また異常な音や振動がない事を確認して下さい。
- 次にビニールホースを折り曲げてドレンの流れを止め、更に水を少しずつ入れて故障信号にてエアコンが停止する事を確認して下さい。

運転時のご注意

- 冷房運転停止後、残留ドレンの排出をするため、ポンプには常時通電しておいて下さい。ドレンの排出が終われば、ドレンポンプは自動的に運転を停止します。
- ドレンポンプに異常が発生して、ドレンの排出が出来ない時は故障信号によりエアコンの運転は停止します。(但し、故障信号をエアコンのインターロック回路に接続している場合)
- もし冷房運転中にエアコン内部或はドレンポンプのタンクから水が漏れる時はすぐにエアコンを停止して下さい。ドレン出口が詰まっていたり、故障信号が正常に作動していない恐れがありますので、お買い上げの販売店にご連絡下さい。

日常の点検事項

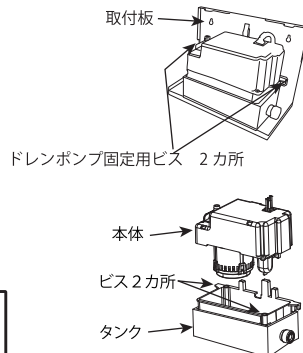
- 定期的に点検して下さい。(冷房のシーズン前、又はシーズン後)
- フロートがフリーに作動出来る事を確認して下さい。
- ドレンタンクに溜まった汚れを綺麗に洗い流して下さい。
- ドレンホースの緩み、キズ、詰まりがないか確認して下さい。
- 逆止弁につまりが無いか確認下さい。
- 点検後、必ずポンプの作動テストを行って下さい。

【タンク内清掃方法】

- 取付板にあるドレンポンプ固定用ビスを外してください。
- タンクと本体を固定しているビス (2カ所 図の→部分) を取り外して下さい。
- 本体を持ち上げタンクを取り出し、本体を取付板に置き、タンクを清掃下さい。
- 元に戻した際はタンクと本体がしっかりとまっているか確認下さい。

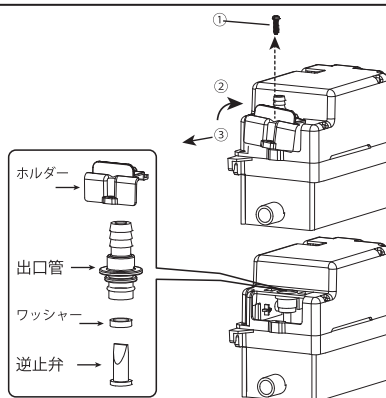


本体を取付板に置いた際、本体に残っていたドレンが取付板に溜まるかもしれません。その場合は濡れた部分を拭いてからタンクを設置下さい。



【逆止弁メンテナンス方法】

- ホルダーに取付けられているビスを外してください。
- ホルダーを右記の矢印の②方向に持ち上げてから③の方向に引いて下さい。ホルダーが外れます。
- 出口管を抜いて頂くと逆止弁があります。逆止弁を取り外し清掃下さい。逆止弁を傷つけないようご注意下さい。
- 取外した逆の順序で元に戻して下さい。戻した後に水漏れ等が無いか試運転を行なって下さい。



保証期間

製品の保証期間はお買い上げの日より一年間となっています。正常な使用状態で保証期間内に不具合が生じた場合は無償で修理或は交換させて頂きます。(持ち込み修理となります。)保証は本製品に対してのみで、それ以外の損害については保証対象外とさせていただきます。

株式会社 エヌ・エス・シー

〒561-0894 大阪府豊中市勝部2-6-34

TEL 06-6849-2500 FAX 06-6849-2515